

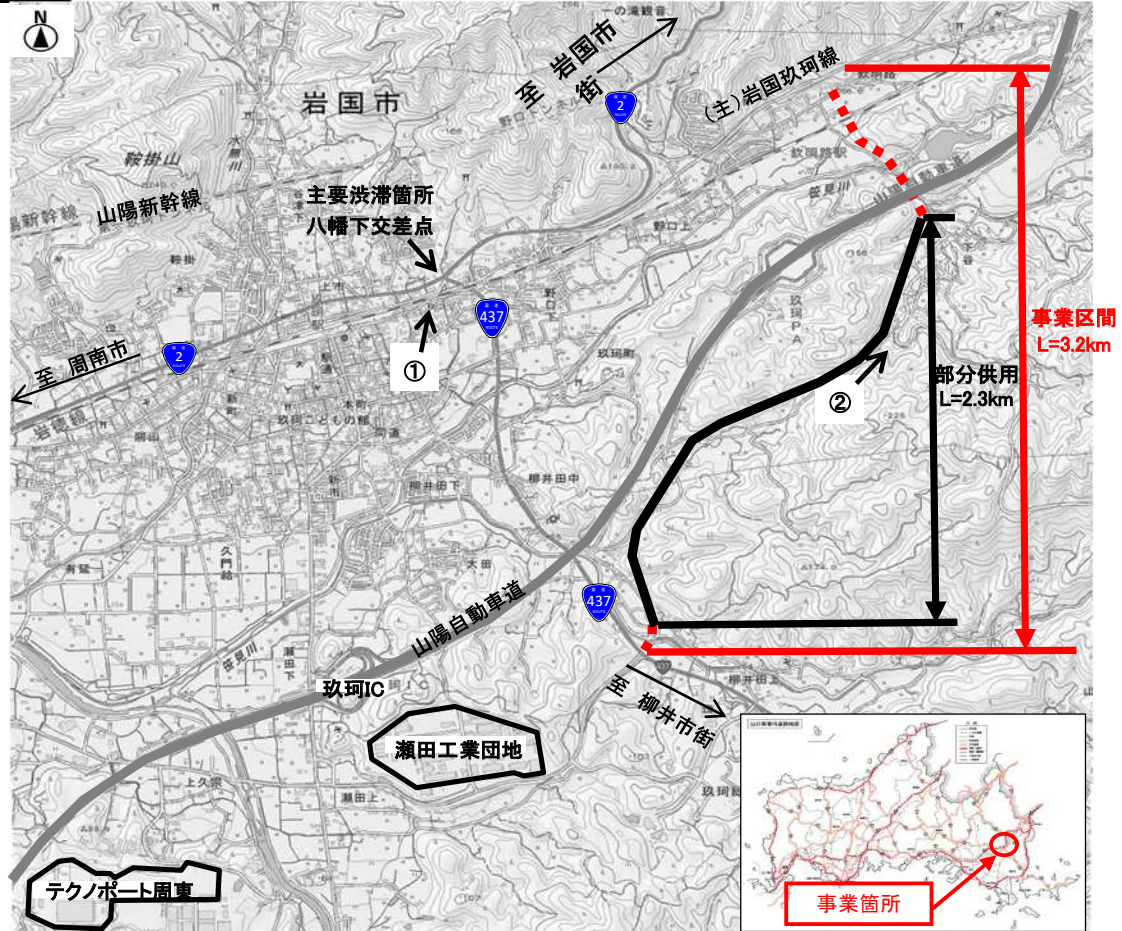
再評価項目調書

再評価実施要件		○ 事業採択後（ 年 ） ● 再評価後（ 5 年 ） ○ その他（ ）						
1 事業概要	事業名	主要地方道 いわくに ぐが 岩国玖珂線 道路改築事業						
	事業場所	岩国市玖珂町 きんめいじ 欽明路～岩国市玖珂町 やないだ かみ 柳井田上						
	事業主体	山口県						
	事業期間	《 前回評価 令和 元 年 時 》 平成 12 年度 ～ 令和 9 年度 《 令和 6 年度 》 （ 西暦 2000 年度 ～ 西暦 2027 年度 《 西暦 2024 年度 》 ）						
	総事業費 （内用地補償費）	≪ 6,530 百万円 ≫ 7,200 百万円 （ 2,226 百万円 ）	既投資額 （内用地補償費）	6,478 百万円 （ 2,216 百万円 ）	進捗率 （用地補償費）	90 % （ 99 % ）		
	事業目的	主要地方道岩国玖珂線は、岩国市今津町を起点とし、岩国市玖珂町野口で国道2号に接続する幹線道路であるとともに、岩国市街地と工業拠点である瀬田工業団地等とを連絡する重要な道路である。 しかしながら、当該区間に並行する国道2号や周辺道路では、主要渋滞箇所である「八幡下交差点」を中心に慢性的な渋滞が発生しており、安全で円滑な交通に支障をきたしている。 このため、当該区間のバイパス整備を行うことにより、市街地へのアクセス性向上、交通渋滞の緩和、地域住民の安全で円滑な交通の確保を図ることを目的としている。						
	事業内容	○延長 L=3. 2 km（バイパス整備） ○幅員 全幅11. 0m（車道3. 25×2=6. 5m、歩道2. 5m（片側）） ○道路区分 第3種第2級 ○計画交通量 7,100台/日						
事業効果	○岩国市玖珂町と岩国市街地との移動時間が40分から36分になるなど、地域間の移動時間が4分短縮されるとともに、定時性や安定した走行が確保されることから、以下の効果がある。 ・物流の迅速化、効率化により地域産業の活性化が期待できる。 ・岩国市玖珂町から三次緊急医療機関（岩国医療センター）への搬送時間短縮により、救命率の向上に寄与する。 ○周辺道路の渋滞緩和により、円滑な交通が確保される。 ○物流交通等の転換により、周辺道路を含めて安全な交通が確保される。							
2 再評価の視点	(1) 社会経済情勢の変化	社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	平成24年に、山口県道路交通渋滞対策部会において、国道2号『八幡下交差点』や同市玖珂町の『同道交差点(東)』が主要渋滞箇所となっており、当該道路の整備の必要性は依然として高い。 また、令和3年に、産業団地【テクノポート周東】に、新たに2社が進出した。				中項目評価	大項目評価
		関係市町及び地元の意向	当該道路は、「岩国市都市計画マスタープラン（平成17年から令和7年）」に整備を促進する道路として位置付けられているとともに、毎年、地元自治体である岩国市から早期整備の要望がある。 地元住民は事業に協力的であり、事業の推進にあたっては協力体制が整っている。				中項目評価	大項目評価

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等	(単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>前 回</th> <th colspan="2">今 回 (再評価・再々評価)</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>(基準年：R1)</th> <th colspan="2">(基準年：R6)</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>全体事業</th> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益 (B)</td> <td>①走行時間短縮便益</td> <td>17,339</td> <td>19,962</td> <td>11,691</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②走行経費減少便益</td> <td>554</td> <td>783</td> <td>1,394</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③交通事故減少便益</td> <td>24</td> <td>110</td> <td>246</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>17,917</td> <td>20,855</td> <td>13,331</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>9,299</td> <td>12,510</td> <td>608</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>576</td> <td>619</td> <td>130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>9,875</td> <td>13,129</td> <td>738</td> <td></td> </tr> <tr> <td>費用便益比 (B/C)</td> <td>1.8</td> <td>1.6</td> <td>18.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額 【費用対効果分析手法】 前回評価：「費用便益分析マニュアル」(H30.2) 基準年：H31 平成22年度道路交通センサスペース 平成42年推計交通量 今回評価：「費用便益分析マニュアル」(R5.12) 基準年：R6 平成27年度道路交通センサスペース 平成42年推計交通量	区分	主な項目	前 回	今 回 (再評価・再々評価)		備 考	(基準年：R1)	(基準年：R6)				全体事業	全体事業	残事業		便益 (B)	①走行時間短縮便益	17,339	19,962	11,691		②走行経費減少便益	554	783	1,394		③交通事故減少便益	24	110	246		④その他の便益					総便益	17,917	20,855	13,331		費用 (C)	①事業費	9,299	12,510	608		②維持管理費	576	619	130		③その他					総費用	9,875	13,129	738		費用便益比 (B/C)	1.8	1.6	18.1		A ● B ・ C
	区分	主な項目	前 回			今 回 (再評価・再々評価)		備 考																																																															
			(基準年：R1)	(基準年：R6)																																																																			
			全体事業	全体事業	残事業																																																																		
便益 (B)	①走行時間短縮便益	17,339	19,962	11,691																																																																			
	②走行経費減少便益	554	783	1,394																																																																			
	③交通事故減少便益	24	110	246																																																																			
	④その他の便益																																																																						
	総便益	17,917	20,855	13,331																																																																			
費用 (C)	①事業費	9,299	12,510	608																																																																			
	②維持管理費	576	619	130																																																																			
	③その他																																																																						
	総費用	9,875	13,129	738																																																																			
	費用便益比 (B/C)	1.8	1.6	18.1																																																																			
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	事業区間3.2kmのうち、市道柳井田24号線より北側2.3kmが平成30年2月に部分供用したことにより、円滑な交通が確保された。 用地補償については概ね完了しており、事業実施における支障はなく、今後計画的な事業進捗が見込まれることから、引き続きバイパス整備を進める。	A ● B ・ C																																																																				
	コスト削減	【事業費の変化】 ☒ 有 無 ・橋梁等の構造物工事における増額を踏まえ事業費を変更する。 ・JR委託内容の見直しを踏まえ事業費を変更する。 ・用水取水ルートの見直しを踏まえ事業費を変更する。 【事業期間の変化】 ☒ 有 無 ・平成30年7月豪雨災害の影響により、施工等に時間を要するため、事業期間を延伸する。 ・用水取水ルートの見直しにより、施工等に時間を要するため、事業期間を延伸する。	<table border="1"> <tr> <th>中項目 評 価</th> <th>大項目 評 価</th> </tr> <tr> <td>a・b</td> <td>A</td> </tr> </table>	中項目 評 価	大項目 評 価	a・b	A																																																																
	中項目 評 価	大項目 評 価																																																																					
a・b	A																																																																						
代 替 案	利便性、経済性、施工性を総合的に勘案し、最適なルートを選定していることから、計画どおり進めることとする。	<table border="1"> <tr> <th>中項目 評 価</th> <th>大項目 評 価</th> </tr> <tr> <td>a・b</td> <td>B・C</td> </tr> </table>	中項目 評 価	大項目 評 価	a・b	B・C																																																																	
中項目 評 価	大項目 評 価																																																																						
a・b	B・C																																																																						
3 環境	配 慮 事 項	・河川に近接する工事での濁水の対策として、沈砂池や濁水処理フィルターを設置する。 ・騒音振動対策として、低騒音、低振動型の機械を使用し、周辺の住環境に配慮した施工を行う。																																																																					
4 対応方針	総 合 評 価	● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止																																																																					
	評 価 理 由	事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業継続が妥当と判断する。																																																																					
	備 考																																																																						

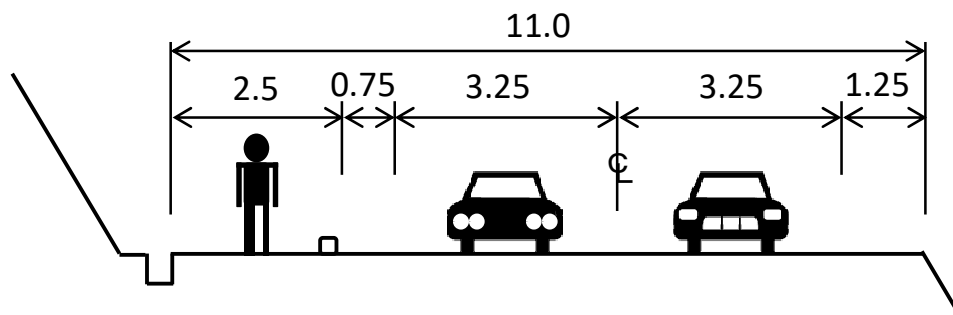
主要地方道 いわくにくが 岩国玖珂線 道路改築事業

平面図



※この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。

標準断面図



写真



① 八幡下交差点付近の渋滞状況



② 部分供用区間の状況